

(書式 2)

## 学会参加報告書

提出日 2019 年 9 月 17 日

学籍番号	19PDB06	所属	コーチング学系
氏名	針谷 理栄子		
学会等名 (正式名称)	INTERNATIONAL SOCIETY OF BIOMECHANICS IN SPORTS		
開催日程	2019 年 7 月 21 日 ~2019 年 7 月 25 日		
開催場所 (国・都市名)	Oxford, Ohio, USA		
発表演題名	HOW FEMALE COLLEGIATE GYMNASTS GENERATE A DOUBLE TWIST IN THE BACKWARD STRETCHED SOMERSAULT		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p>&lt;学会の全体の印象&gt; マイアミ大学のキャンパスで行われた本学会には、例年に比べ日本人の参加が少なく、全体の発表者数も少なかった。しかし、日本での学会発表に比べ女性の発表者がとても多く奨励賞の受賞者にも女性が含まれていた。 発表内容では、怪我についての発表がとても多く、私の研究のような、動作分析をして選手に還元する内容の研究は少なかった。</p> <p>&lt;自分の研究と関連した発表とその内容&gt; 体操競技に関する動作分析の研究は行われていなかった。 スケート選手のジャンプ動作を長期にわたり分析を行い、角運動量の変化を比較した研究発表があった。競技歴が長くなるにつれ技術の向上があり腕の動作を小さくし角運動量を小さくすることでより良いジャンプ動作の獲得に繋げていた。</p> <p>&lt;自身の発表への質問・コメント&gt; ・タイプ分けしたひねり動作の中でどのタイプがより適しているのか ・どちらのひねりタイプがおすすめなのか ・今後の展望について ・ひねり動作に男女差はあるのか ・準備動作を変化させることでひねり動作への影響はあるのか</p>		

- ※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。  
提出期限は学会終了後 2 週間以内とする。  
本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。